

ナブテスコ株式会社

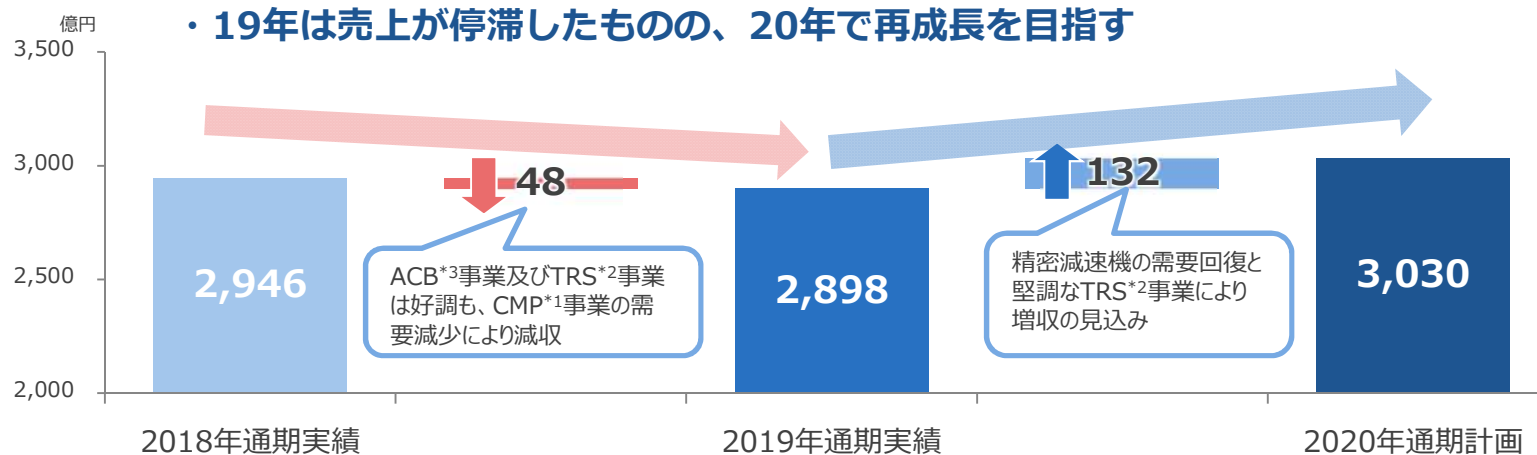
2019年12月期決算説明会

2020年2月17日

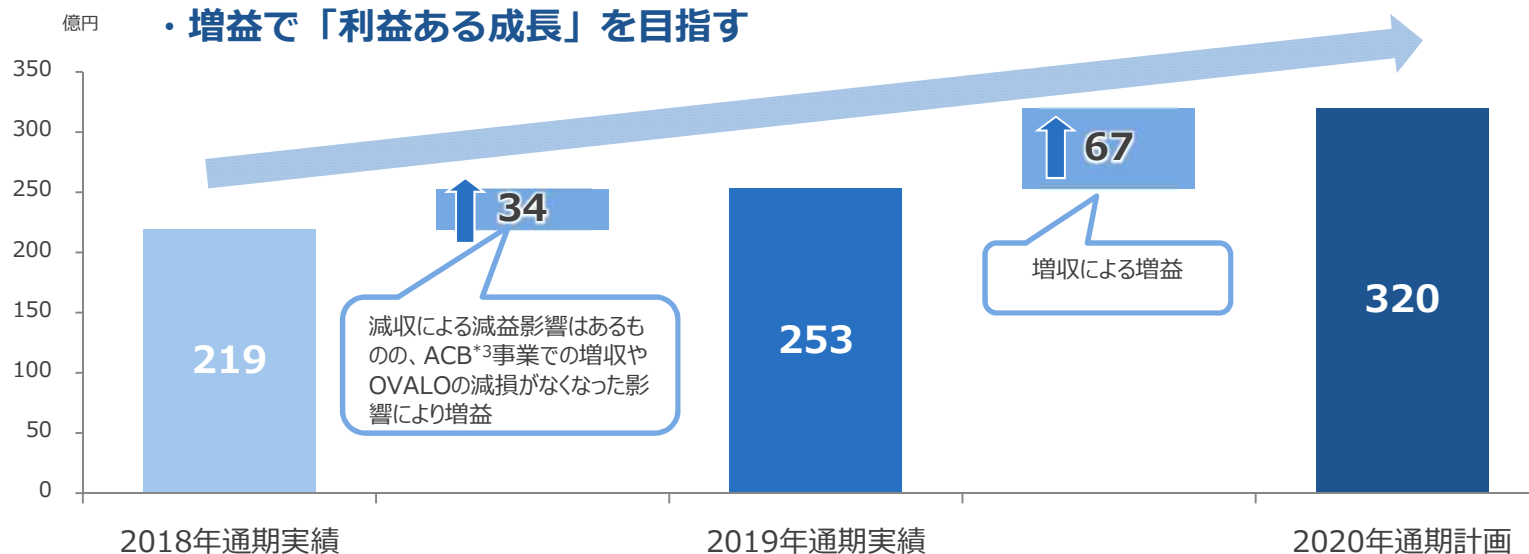
CEO 寺本 克弘

本日の決算説明会での連結業績サマリー

売上高比較



営業利益比較



*1コンポーネントソリューションセグメント *2トランスポートソリューションセグメント *3アクセシビリティソリューションセグメント

1. 2019年12月期連結業績概況

2. 2020年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗
(2017~2020年)

1. 2019年12月期連結業績概況

2. 2020年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗 (2017～2020年)

2019年12月期通期連結業績概況

■ 2019年12月期実績は通期修正計画に対し、ほぼ計画線

(単位：百万円)

	2018/12 通期実績 (A)	2019/12 2/8公表 通期計画	2019/12 10/31公表 通期計画 (B)	2019/12 通期実績 (C)
売上高	294,626	313,000	288,500	289,808
営業利益	21,889	30,000	24,100	25,320
(営業利益率)	7.4%	9.6%	8.4%	8.7%
金融損益	-1,107	-	-	-205
持分法投資利益	9,181	-	-	2,864
税引前利益	29,962	33,600	25,300	27,979
当期利益 * 1	21,029	22,900	16,800	17,931
ROA	6.7%	6.6%	5.0%	5.3%
ROE	12.1%	12.3%	9.3%	9.8%

前期実績比 増減額 (C-A)	修正計画比 増減額 (C-B)
-4,818	1,308
3,431	1,220
1.3pt	0.4pt
902	-
-6,317	-
-1,983	2,679
-3,098	1,131
-1.4pt	0.3pt
-2.3pt	0.5pt

一株当たり配当金	73円	73円(予)	73円(予)	73円(予)
配当性向	43.0%	39.5%(予)	53.9%(予)	50.5%(予)

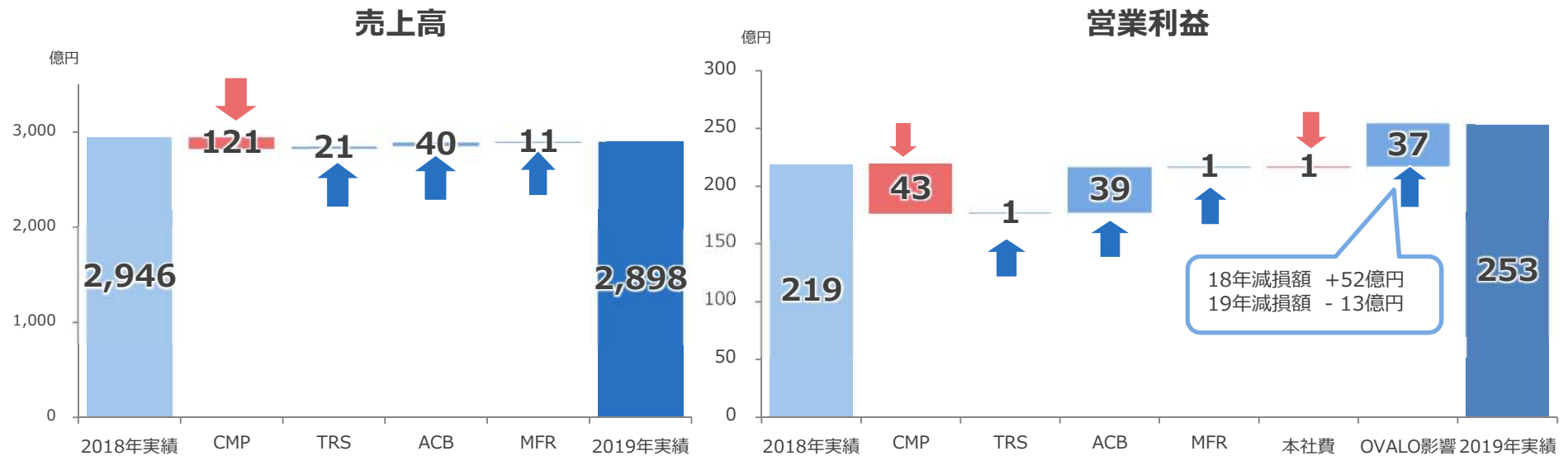
Remarks :

- 2018年 ハーモニックドライブ社の増資に伴う持分投資利益 約57億円

*1 当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

セグメント別売上高・営業利益変動要因分析（2018/12通期比）

■ 設備投資需要の停滞によるCMPの減益をACB等でカバー



コンポーネント(CMP) : 売上高は設備投資需要の停滞が継続したことにより精密減速機で減収。
油圧機器でも東南アジア市場の需要低迷により減収。
営業利益は減収による減益。

トランスポート(TRS) : 民間航空機向けの増収および舶用機器での市況の緩やかな回復を受け増収増益。

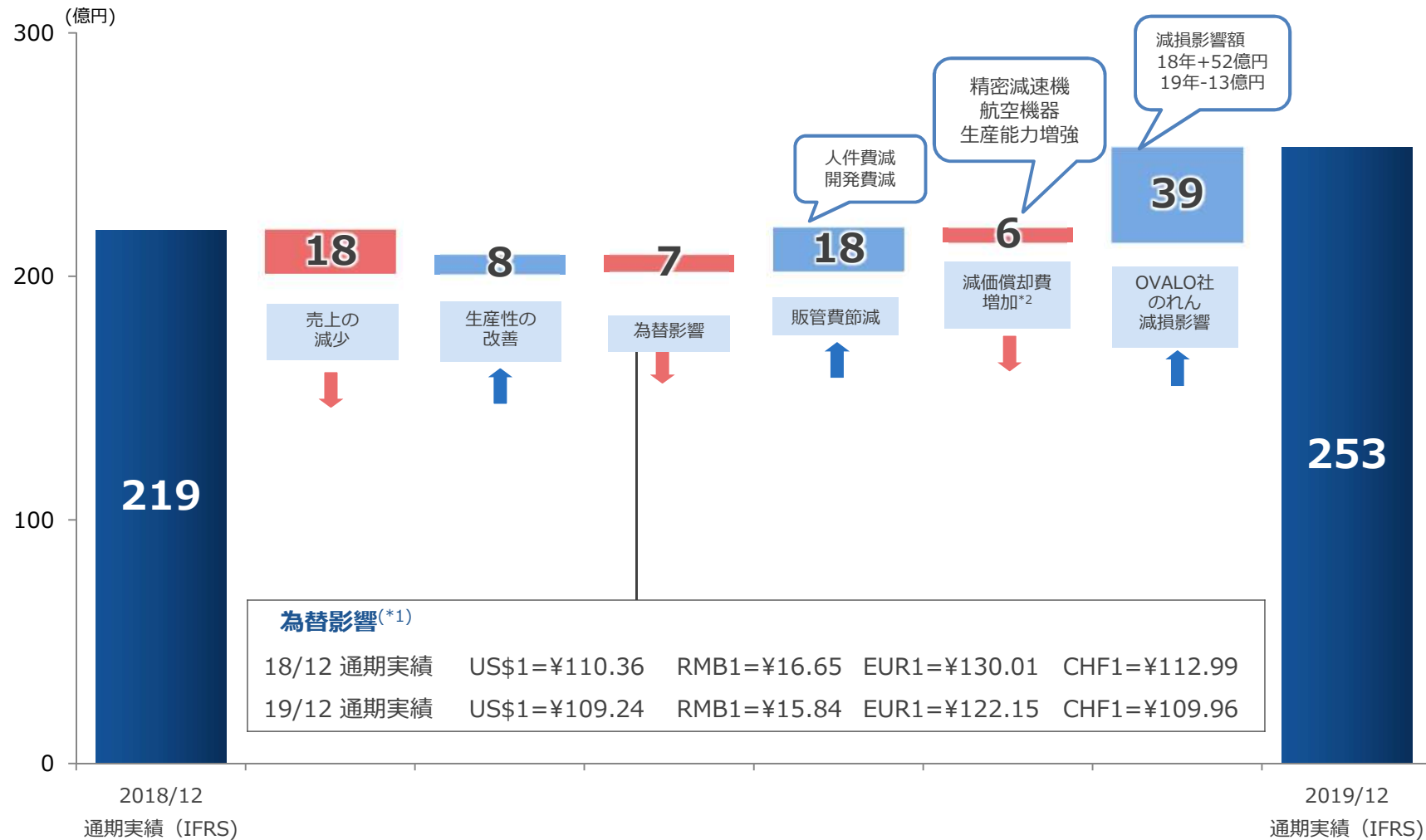
アクセシビリティ(ACB) : 売上高は国内外の建物用ドアおよびプラットホームドア需要が堅調に推移し増収。
営業利益は増収による増益に加え、18年度に発生したPMI (Post Merger Integration) コストがなくなり増益。

マニュファクチャリング(MFR) : 包装機の好調により増収増益。

OVALO影響 : 18年の減損影響がなくなった。

全社営業利益変動要因分析（2018/12通期比）

■ 売上減少、為替影響に伴う利益減を販管費の節減等でカバー



*1 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)： 米国ドル 76百万円 人民元 756百万円 ユーロ 軽微 スイスフラン 軽微

*2 IFRS16号「リース」による増加影響除く

バランスシート（2018/12期末比）

■ IFRS16号「リース」適用による使用権資産(約90億円)が増加

(単位：百万円)	2018/12期末 2018年12月31日	2019/12 期末 2019年12月31日	差異
資 産	328,568	344,558	15,990
(現 預 金 等)	54,039	58,686	4,647
(売 上 債 権)	76,602	70,175	-6,427
(棚 卸 資 産)	43,592	41,257	-2,334
(有 形 固 定 資 産)	80,573	87,083	6,510
(使 用 権 資 産)	0	9,004	9,004
負 債	139,313	145,424	6,112
(社 債 及 び 借 入 金)	45,310	43,936	-1,375
資 本	189,255	199,133	9,878
(非 支 配 持 分)	10,553	11,735	1,182
親 会 社 所 有 者 帰 属 持 分	178,702	187,398	8,696

親会社所有者帰属持分比率：

54.4%

54.4%

1. 2019年12月期連結業績概況

2. 2020年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗
(2017～2020年)

2020年12月期通期連結業績計画

■ 精密減速機の下期需要回復及びTRS事業・包装機が堅調に推移し増収増益を見込む

(単位：百万円)

	2019/12 通期実績 (A)	2020/12 通期計画 (B)
売上高	289,808	303,000
営業利益	25,320	32,000
(営業利益率)	8.7%	10.6%
税引前利益	27,979	34,000
当期利益*1	17,931	23,100
ROA	5.3%	6.5%
ROE	9.8%	12.0%

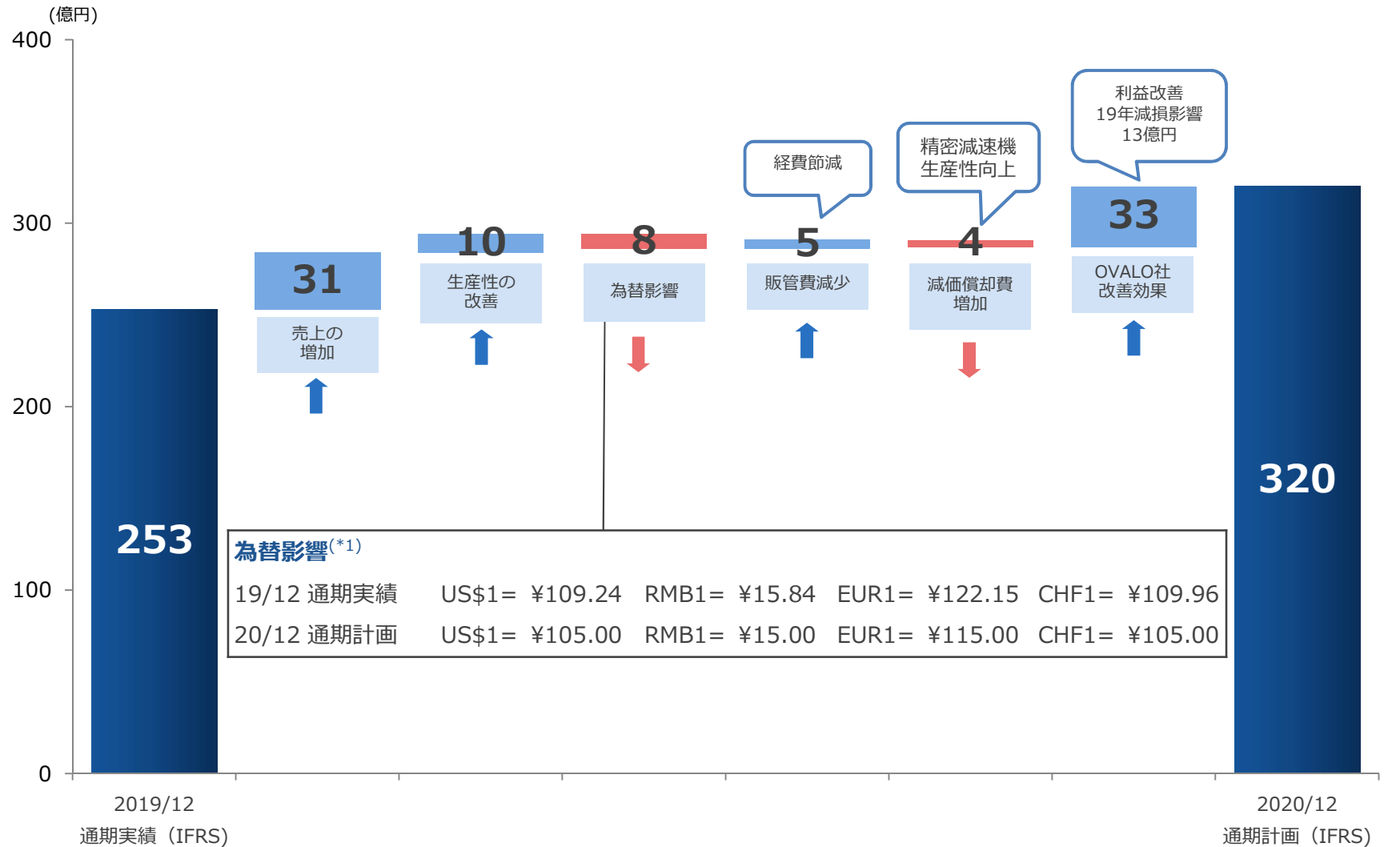
前期実績比 増減額 (B-A)	前期実績比 増減率 (B-A)/A
13,192	4.6%
6,680	26.4%
1.8pt	-
6,021	21.5%
5,169	28.8%
1.2pt	-
2.2pt	-

一株当たり配当金	73円(予)	82円(予)
配当性向	50.5%(予)	44.1%(予)

*1 当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

全社営業利益変動要因分析（2019/12通期比）

■ 各事業での増収に加え、OVALO社の改善により増益

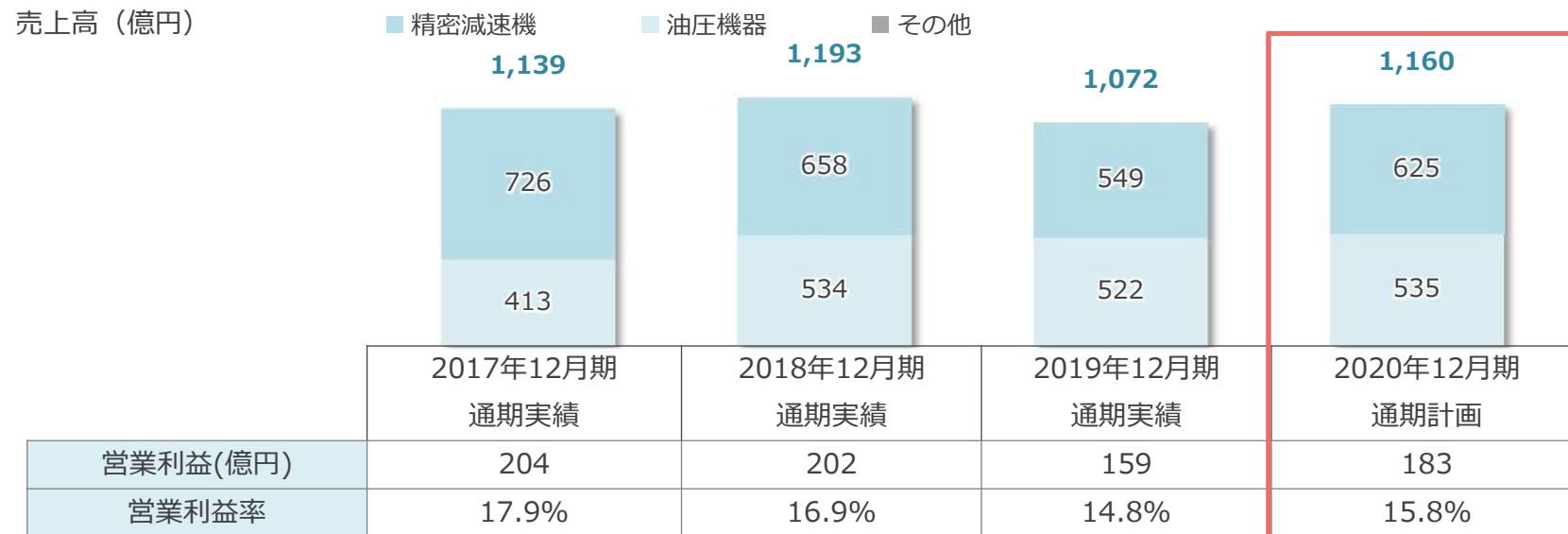


*1為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)： 米国ドル 57百万円 人民元 815百万円 ユーロ 軽微 スイスフラン 軽微

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

■ 産業用ロボット向けの精密減速機で下期に需要回復を見込むとともに、油圧機器は堅調な中国での建設機械需要に加え、東南アジアでの需要回復により増収の見通し。

業績実績及び計画



2019/12通期実績 対 2020/12通期計画

精密減速機 : 自動車向けの設備投資需要の回復を見込み増収の見通し。

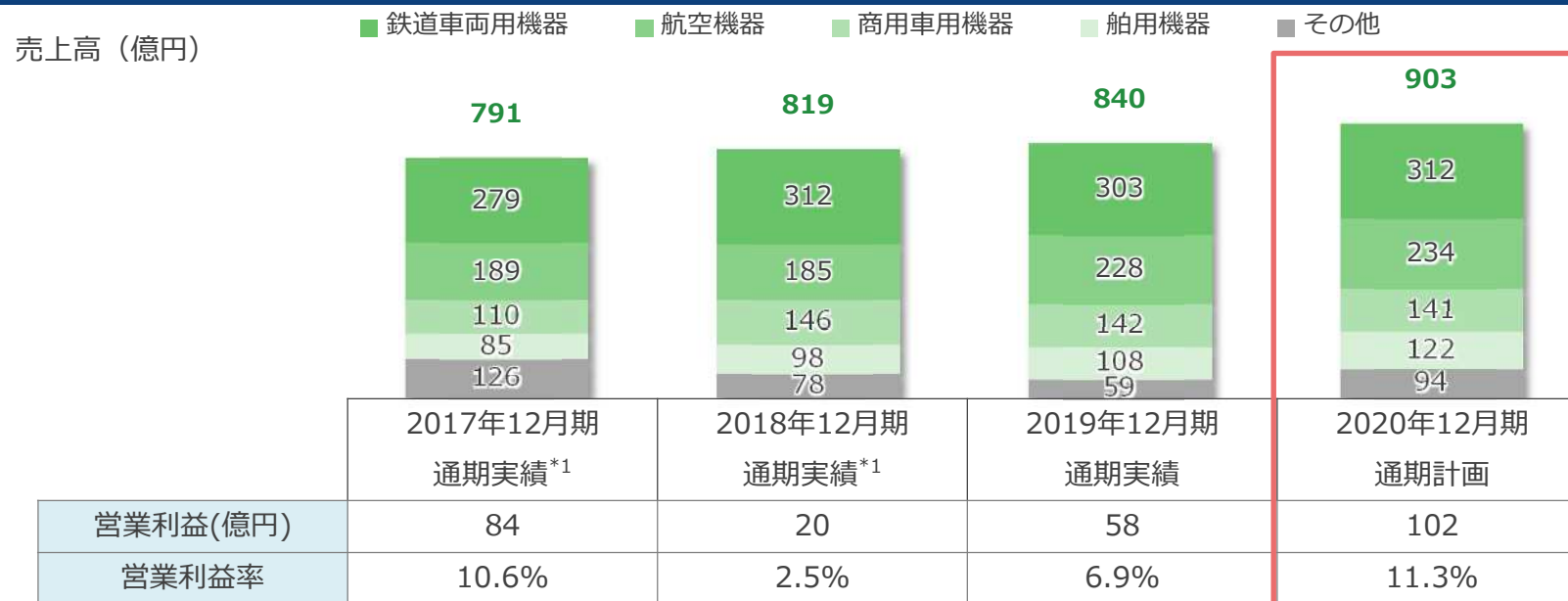
油圧機器 : 中国はインフラ投資により需要は堅調。東南アジアでの需要回復を見込み増収の見通し。

セグメント営業利益 : 増収に伴う増益の見通し。

トランスポートソリューションセグメント (TRS)

- 鉄道車両用機器の海外案件の増加、船用機器は市況の緩やかな回復が継続し増収の見通し。

業績実績及び計画



*12018/12通期実績以降開示数値の調整方法が変更したため2017/12の開示数値と単純比較できません。

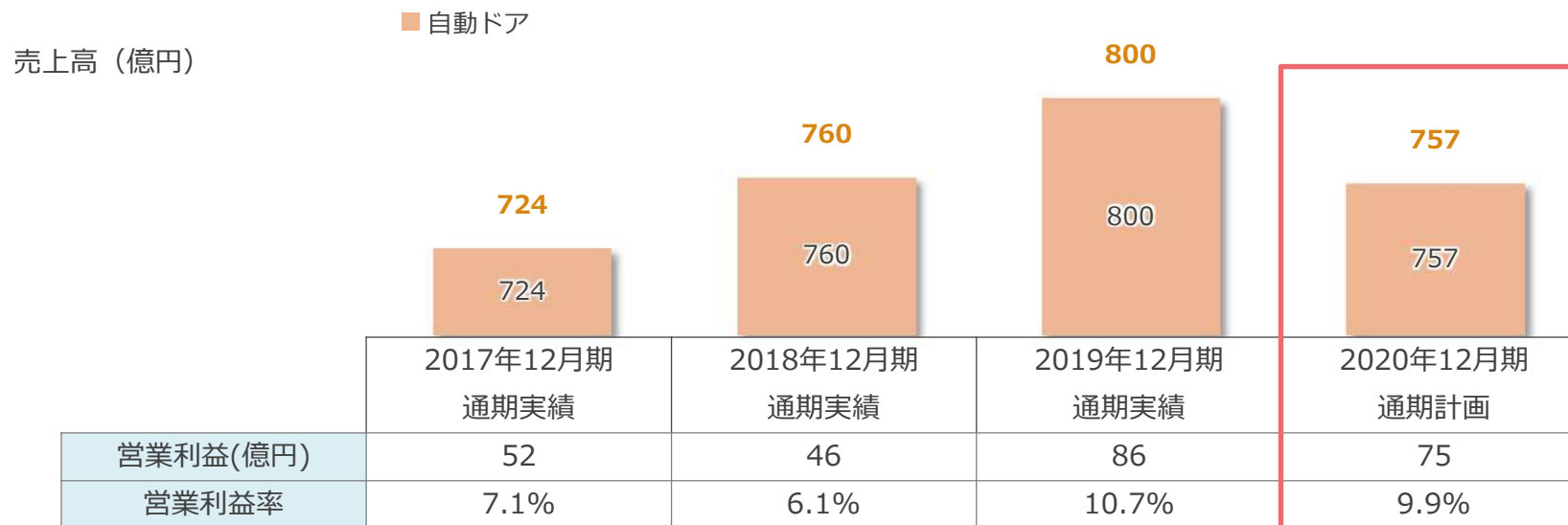
2019/12通期実績 対 2020/12通期計画

- 鉄道車両用機器 : 国内需要の端境期が継続するものの、海外案件の増加により増収の見通し。
- 航空機器 : B777X向けの量産開始となるものの前年並みの見通し。
- 商用車用機器 : 国内需要は厳しさを増すものの前年並みの見通し。
- 船用機器 : 市況の緩やかな回復が継続し増収の見通し。
- その他 : OVALO社では通年での量産稼働により増収の見通し。
- セグメント営業利益 : OVALO社の減損の影響がなくなるとともに、増収により増益の見通し。

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

- 国内でのオリンピック・パラリンピック期間での一時的な減少、及び海外プラットフォームドア案件が端境期に入ることにより、減収の見通し。

業績実績及び計画



2019/12通期実績 対 2020/12通期計画

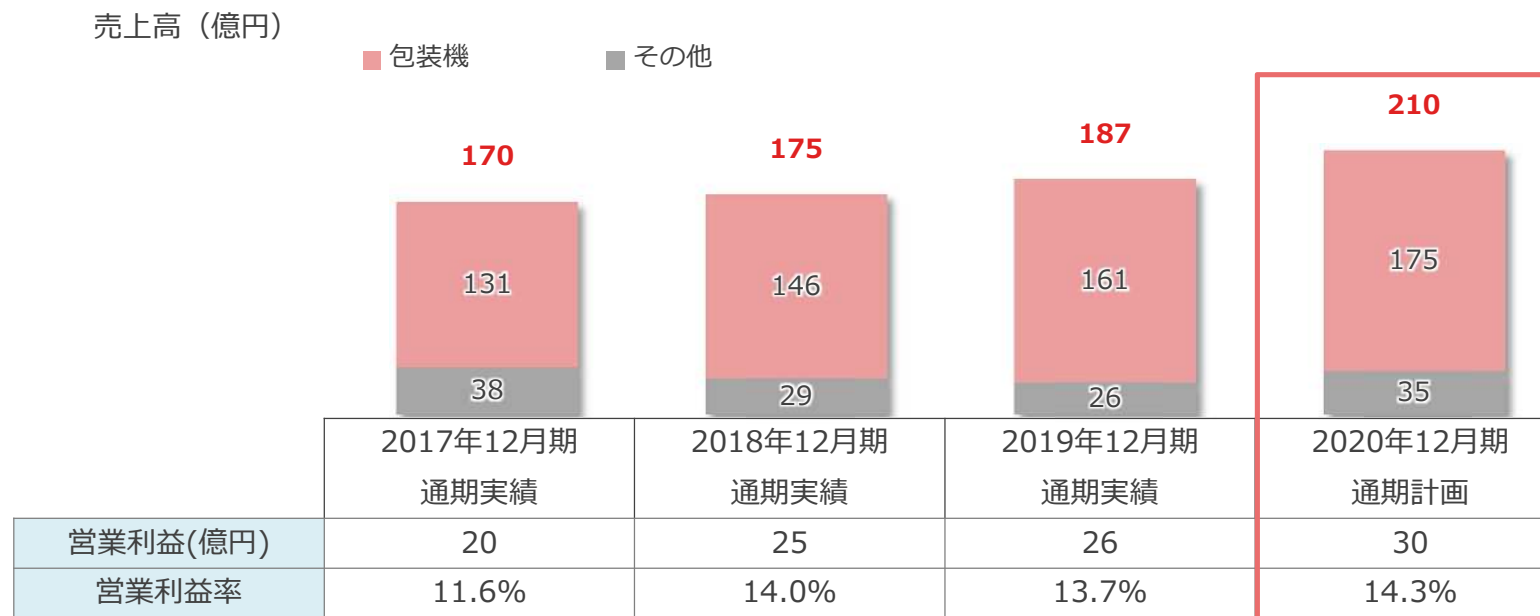
自動ドア : 建物用ドアは海外需要は堅調に推移するものの、国内でのオリンピック・パラリンピック期間中の一時的な減少、及び海外プラットフォームドア案件が端境期となり減収の見通し。

セグメント営業利益 : 減収による減益の見通し。

マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

■ 主要事業の包装機の海外市場拡販により、増収増益の見通し。

業績実績及び計画



2019/12通期実績 対 2020/12通期計画

包装機 : 国内市場向けは堅調に推移することに加え、海外でのペットフードや食品分野での拡販により増収の見通し。

セグメント営業利益 : 増収に伴う増益の見通し。

設備投資額・研究開発費・減価償却費

■ 設備投資額、研究開発費とも中期経営計画レベルで推移

- 2020年は精密減速機の将来の需要拡大を想定し、静岡新工場用地の取得(57億円)を実施
- 環境関連投資も継続して実施

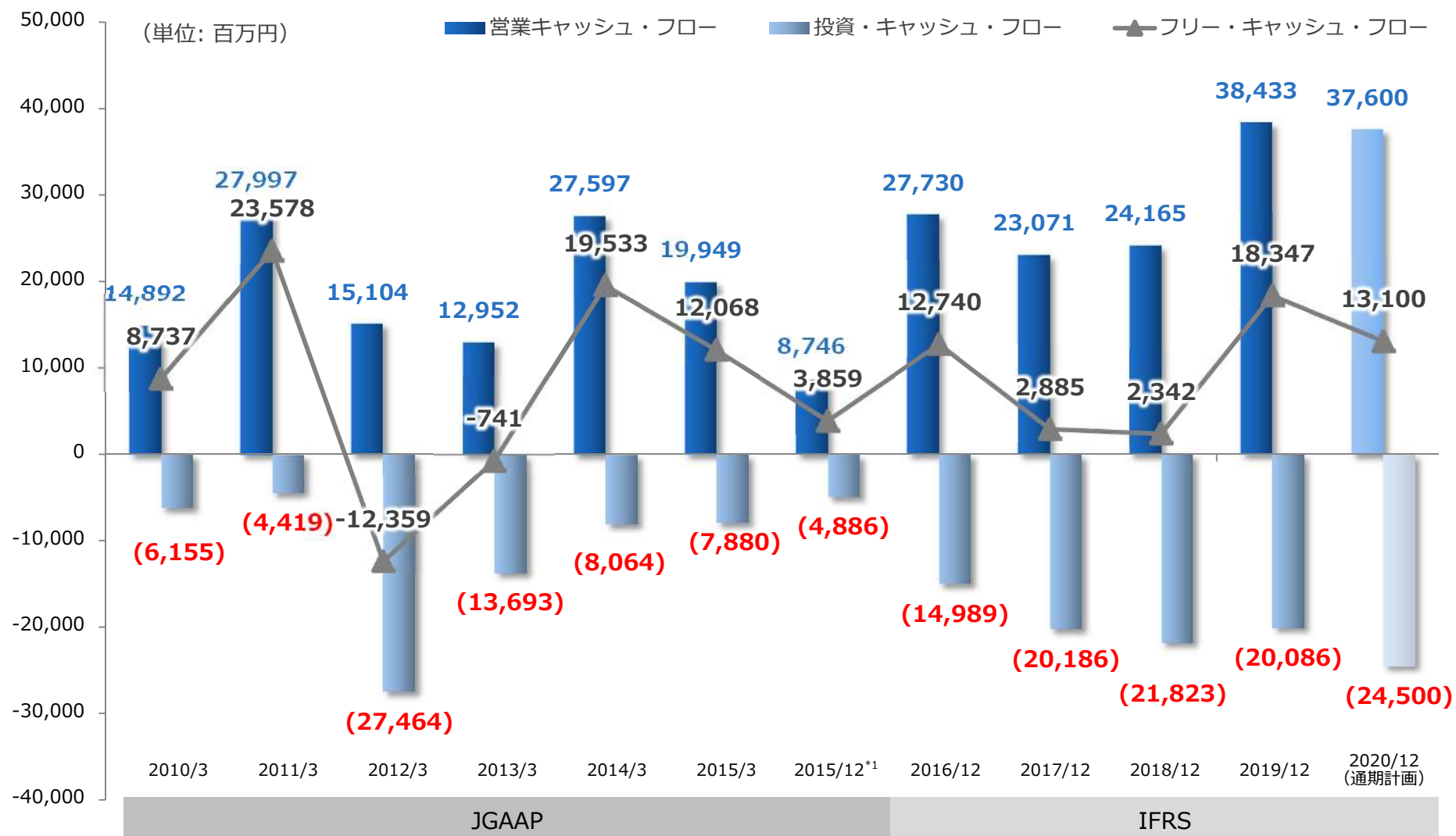
(単位：億円)	2017/12 通期実績	2018/12 通期実績	2019/12 通期実績	2020/12 通期計画
設備投資額	152	203	164	241
研究開発費	87	102	99	115
減価償却費	90	100	131*	135*

2017-20 4カ年累計	2017-20 中期計画
760	770
403	400

* 2019年12月期よりIFRS16号「リース」を適用したため、減価償却費が増加しています。

連結キャッシュ・フロー

■ 成長市場への設備投資を実施しながらもフリーキャッシュ・フローはプラスで推移



*1 「2015年12月期実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期実績(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご注意ください。

1. 2019年12月期連結業績概況

2. 2020年12月期見通し

**3. 中期経営計画の進捗
(2017~2020年)**

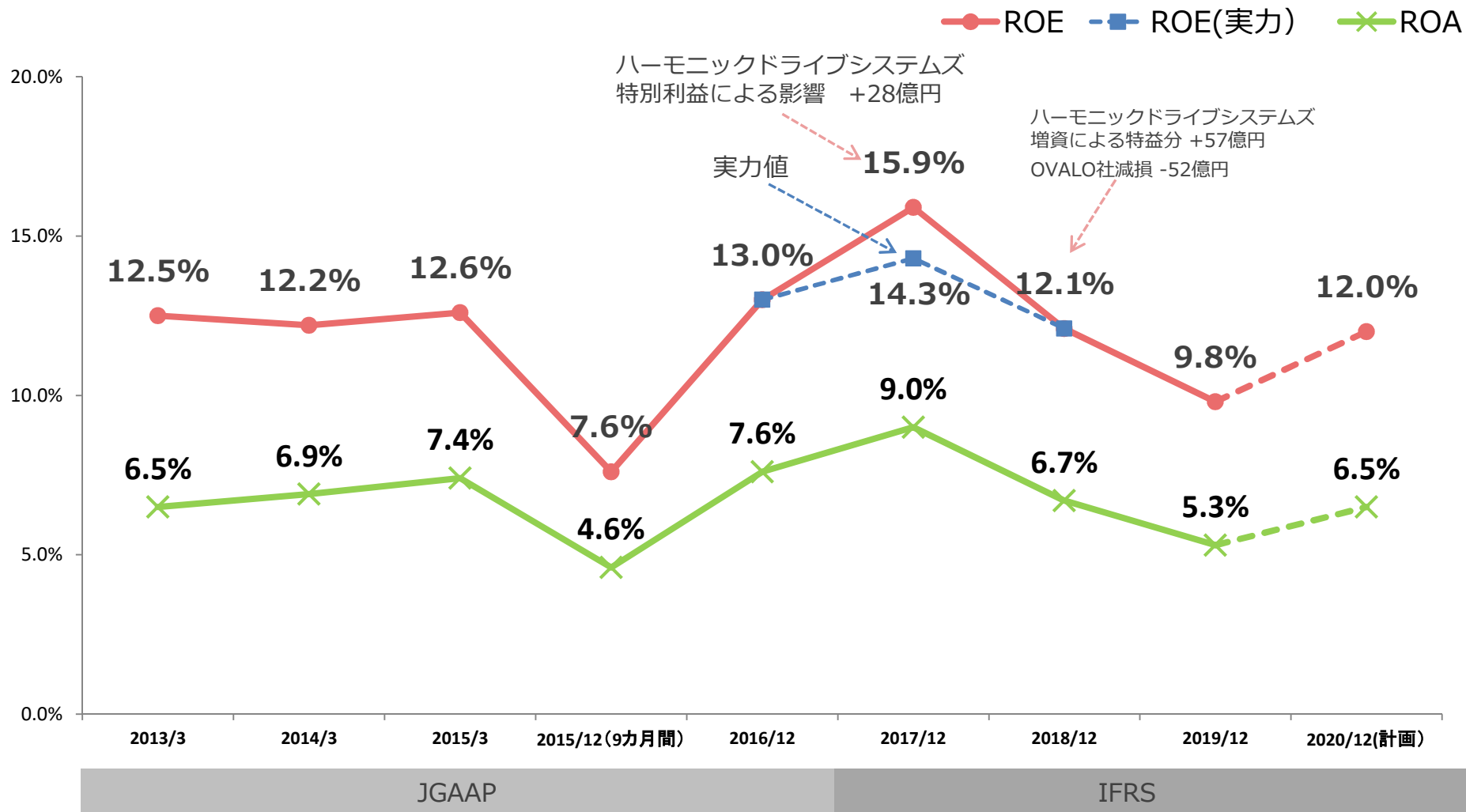
ROE15%達成

連結配当性向35%以上

ESG課題の解決に注力

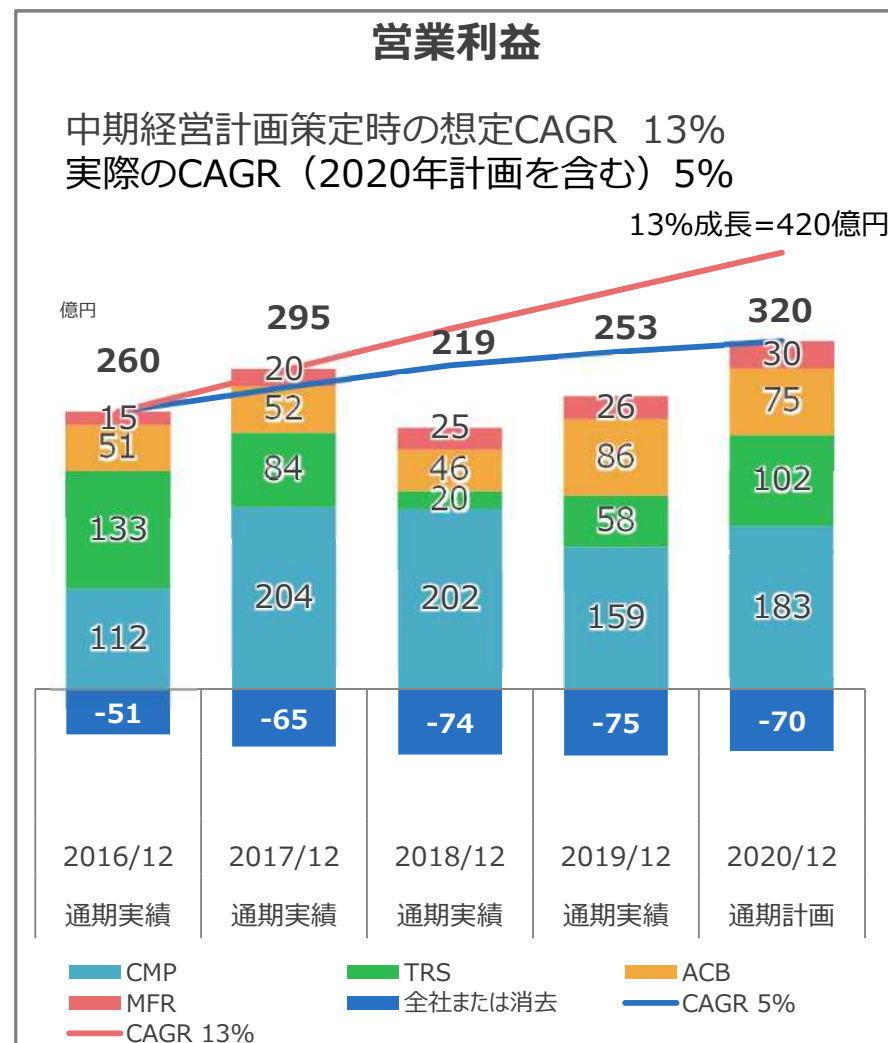
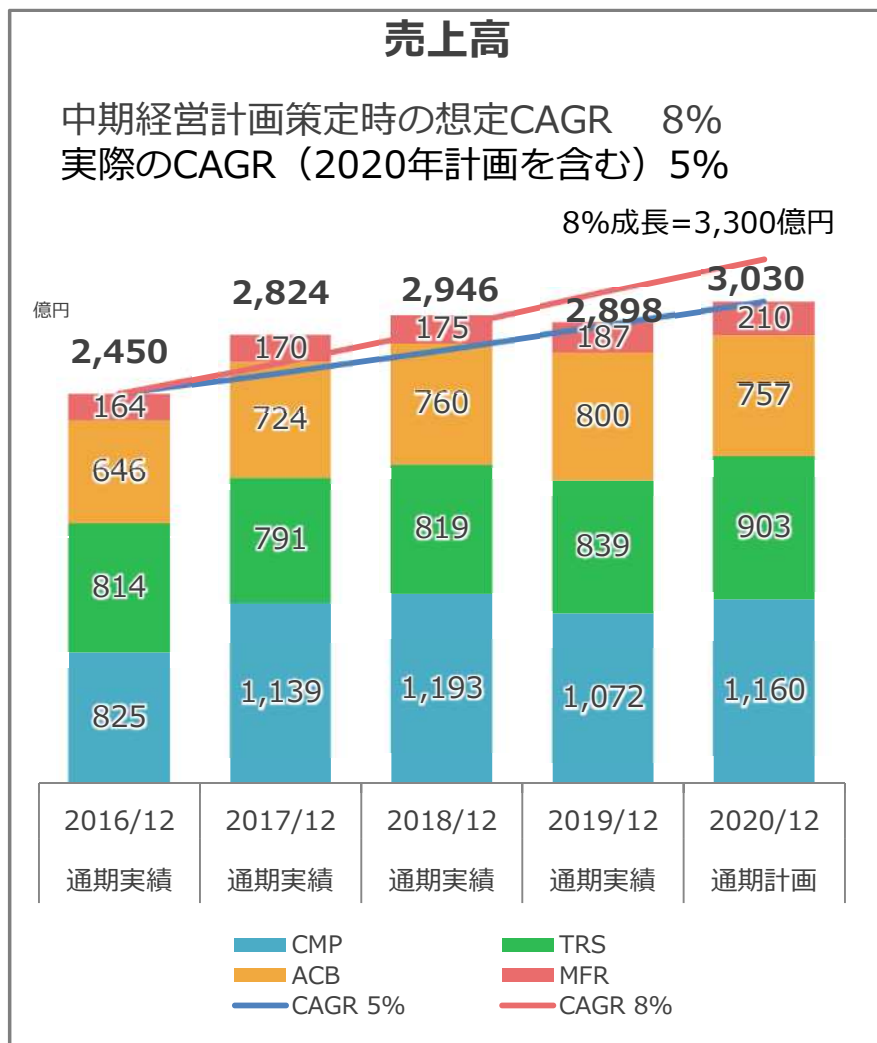
中期経営計画の進捗～ROE15%達成に向けて～

- ROE15%の2020年における達成は厳しい状況だが、変わらず事業活動による早期達成を目指す



中期経営計画の期間中の成長について

- 中期経営計画策定時と比べ、売上高、利益ともに成長率の乖離はあるものの、利益ある成長を継続



中期経営計画策定時との環境変化点

事業環境

事業環境	策定時	現在
精密減速機	堅調な成長を続ける	米中貿易摩擦の影響により、自動車を中心とした設備投資需要の低迷
OVALO	売上は2018年から加速	量産移行が想定より遅れ、2020年から加速
鉄道車両用機器	中国高速鉄道は中速も含め段階的に国産化	中高速案件が想定より発現せず

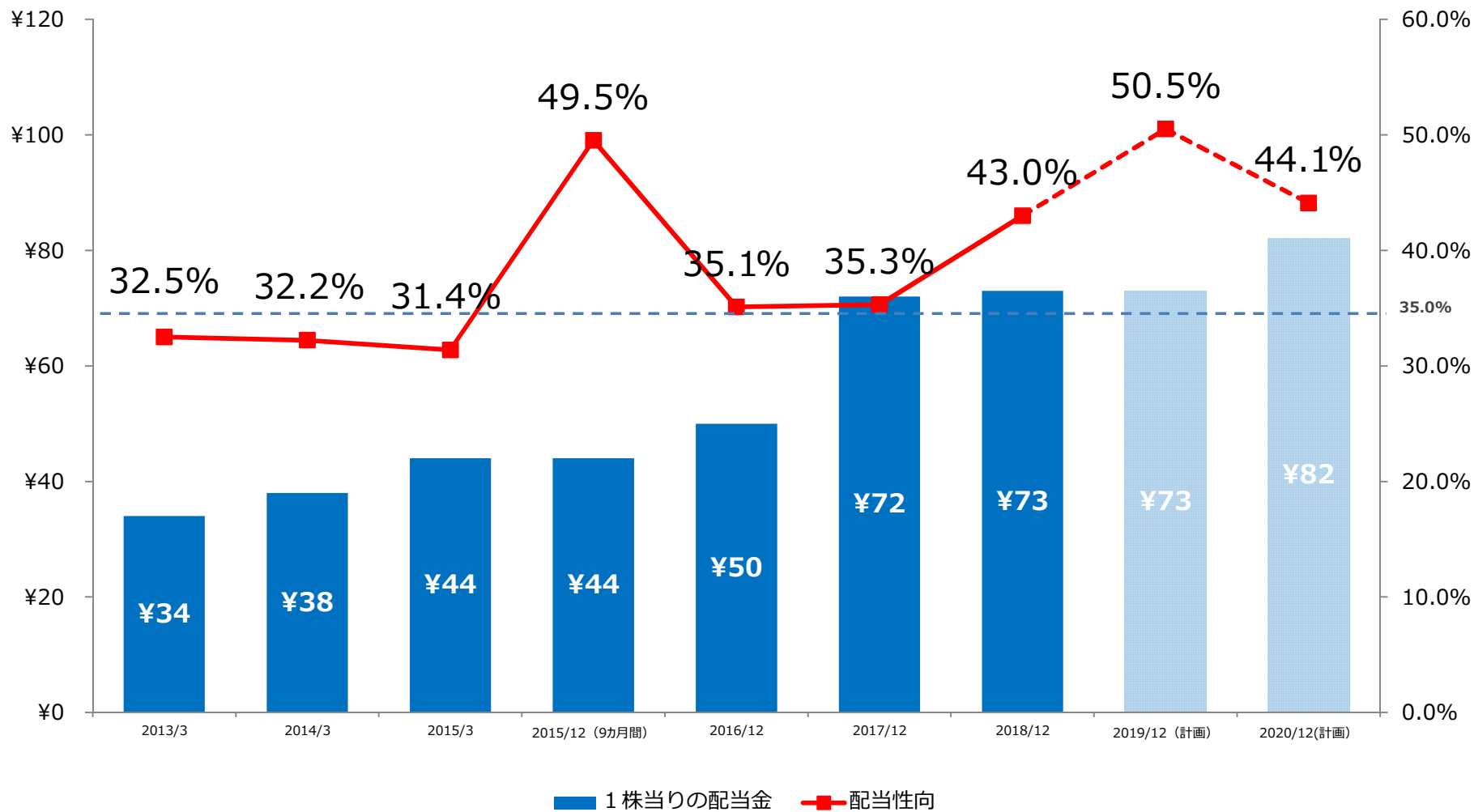
競争環境

策定時と大きく変化なし
引き続き各事業とも市場シェアを維持

中期経営計画の進捗～連結配当性向の推移～

■ 連結配当性向35%以上を継続して実施予定

- 2020年は増配を予定



中期経営計画の進捗～ESG課題解決に注力～

■各領域におけるテーマを着実に推進

- G：「経営の透明性確保」「リスク管理・コンプライアンスのグローバル化」「非財務情報の発信充実」
- S：「組織の活力の更なる向上」「人財育成の強化」
- E：「気候変動対応」「環境負荷低減」

ESG分類	マテリアリティ (重要なCSR課題)	2017/12期	2018/12期	2019/12期	2020/12期
ガバナンス (G)	コーポレート・ガバナンスの強化 リスク管理とコンプライアンスの徹底 ステークホルダーとの積極的な対話	<ul style="list-style-type: none"> ■ 株式給付信託制度を導入 ■ 全社横断的なリスク管理を徹底 ■ 腐敗防止・カルテル防止強化 ■ 統合報告書の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CG基本方針を改訂 ■ リスクアセスメント対象を全グループに拡大 ■ 腐敗防止・カルテル防止のローカルルール整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談役・顧問制度を廃止 ■ 内部通報制度のグローバル化を完了 ■ ESG説明会開催 ■ ESGデータ集掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社外取締役比率を向上へ ■ リスクアプローチに基づく研修活動をグローバルに展開 ■ マテリアリティの再検討
社会 (S)	働きやすい職場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務改革推進室を設置 ■ グループ内で人権DDを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テレワーク導入 ■ スマートワーク賞与導入 	<ul style="list-style-type: none"> ■ システム導入(PPA, AI活用) ■ 健康経営促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス変革推進 ■ 選択型キャリア研修への移行
環境 (E)	気候変動への対応 環境に配慮したものづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■ CO2長期削減目標を制定 ■ 環境関連インセンティブの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境設備投資の推進(太陽光発電) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TCFD賛同表明 ■ フロン排出抑制法への対応を加速 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工場スマート化推進(再エネ活用) ■ 製品の有害物質管理、LCA検討

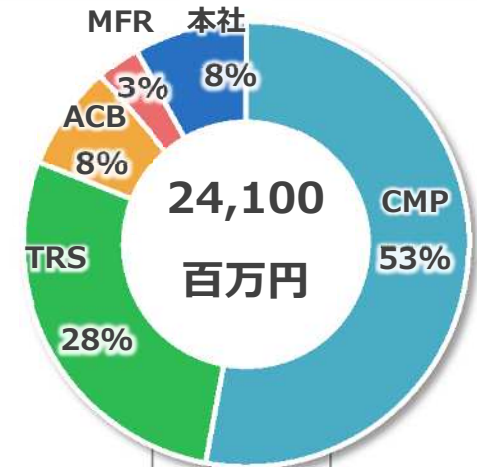
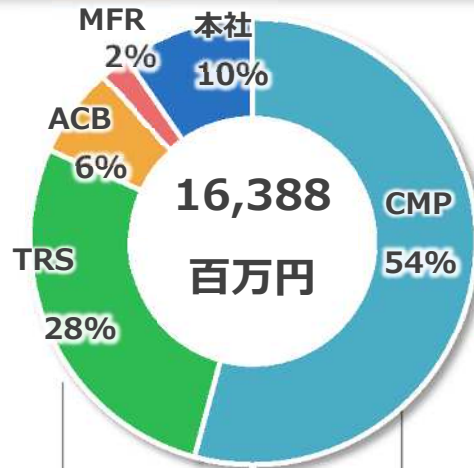
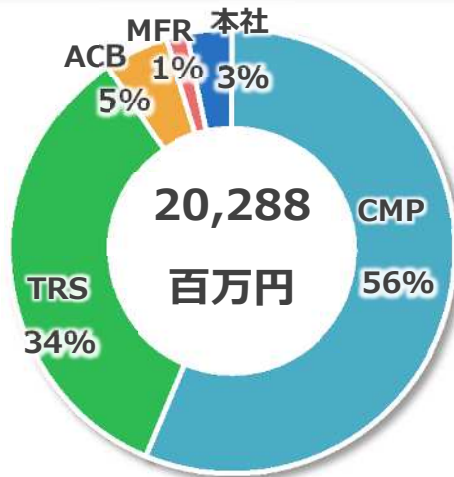
ESG評価機関による評価/ESG Index組入れ状況

	2016	2017	2018	2019
DJSI Asia Pacific	★ (2013~)	★	★	★
DJSI World	★	★	★	★
FTSE4Good	★ (2009~)	★	★	★
FTSE Blossom Japan		★	★	★
MSCI ESG Leaders Indexes	★ (2015~)	★	★	★
MSCI ジャパンESG セレクトリーダーズ		★	★	★
MSCI女性活躍指数			★	
S&P/JPX カーボン エフィシエント				★
CDP CLIMATE CHANGE		★	★	★
CDP WATER SECURITY			★	
CDP SUPPLIER ENGAGEMENT LEADER		★	★	

うごかす、とめる。
Nabtesco

Appendix

設備投資額内訳

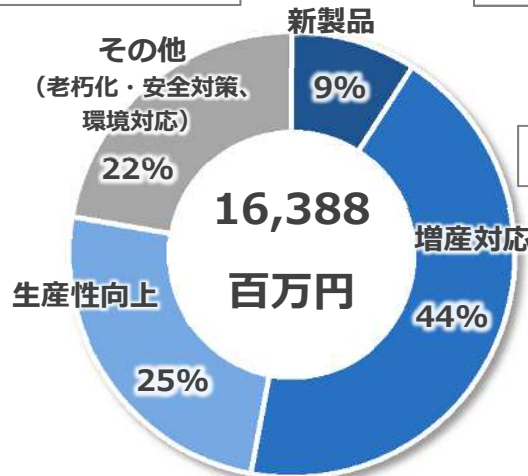


- 精密減速機
- 日本での増産投資(建屋)
- 航空機器
- 岐阜工場設備増強

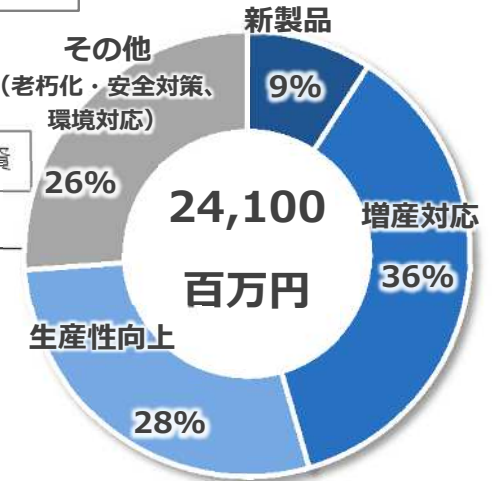
- 精密減速機
- 静岡の土地買収
- OVALO GmbH
- 新製品の量産対応



2018/12通期実績



2019/12通期実績

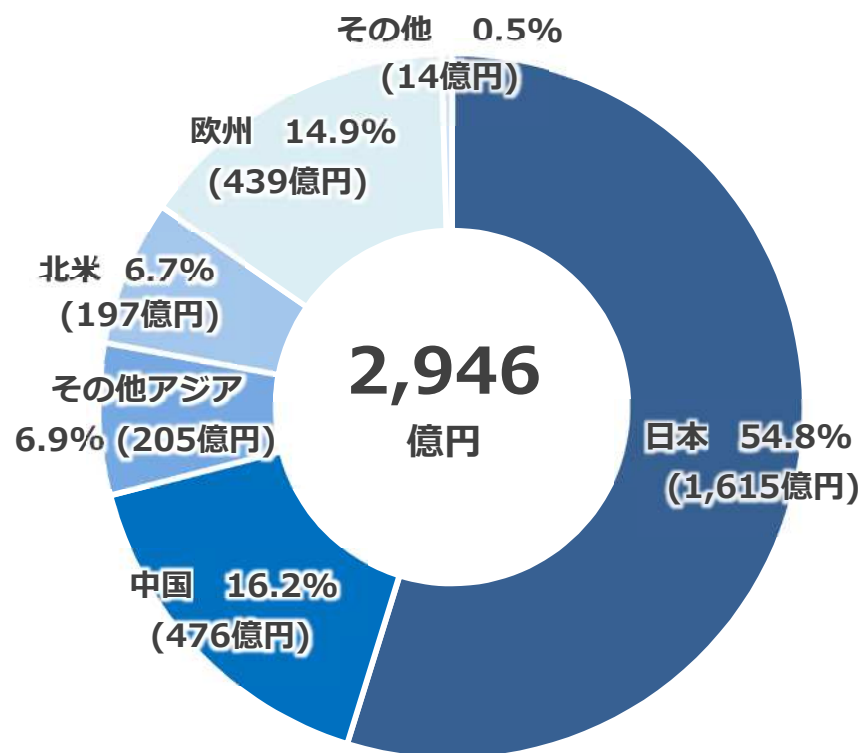


2020/12通期計画

- 環境関連投資

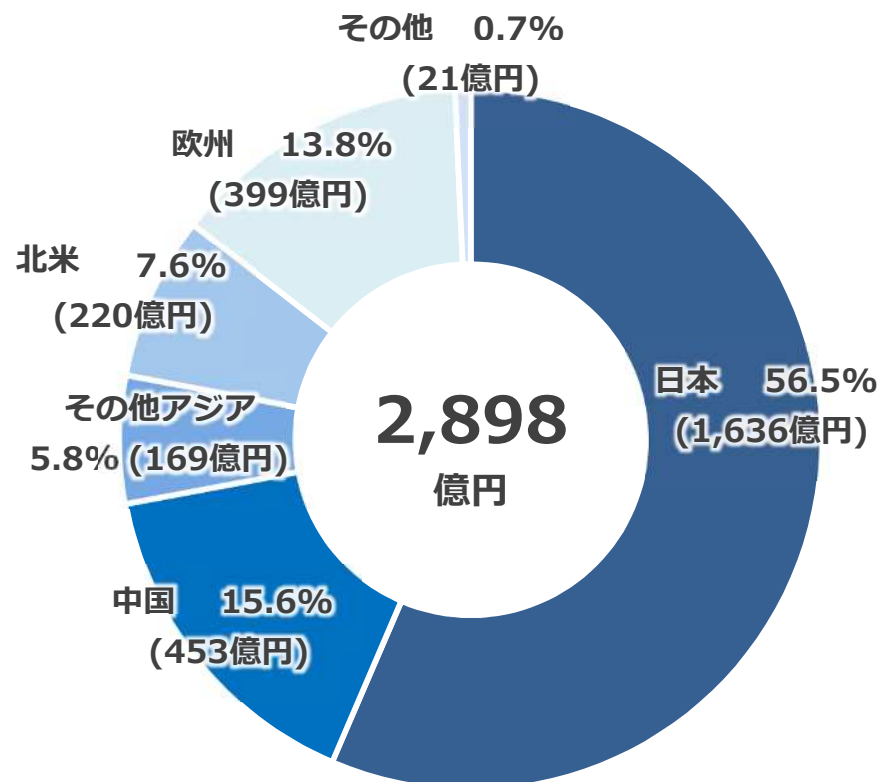
地域別売上高構成比

2018/12 通期実績



海外売上高	1,332億円
海外売上高比率	45.2%

2019/12 通期実績

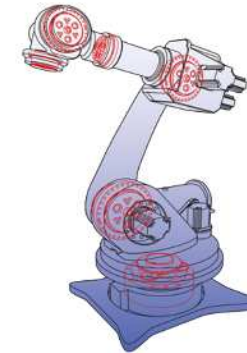
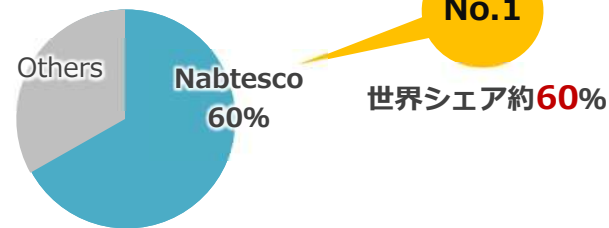


海外売上高	1,262億円
海外売上高比率	43.5%

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) 主要製品

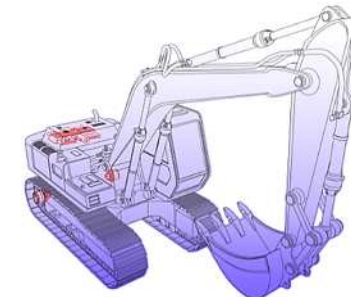
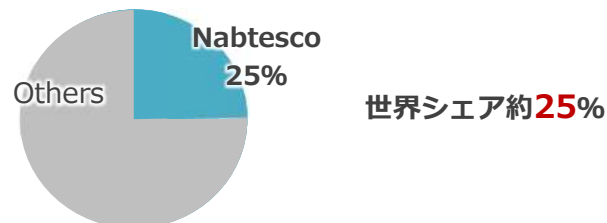
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

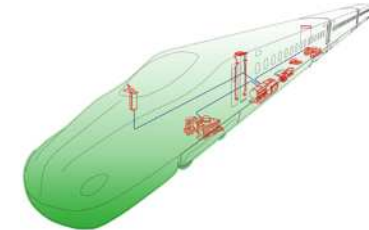
トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



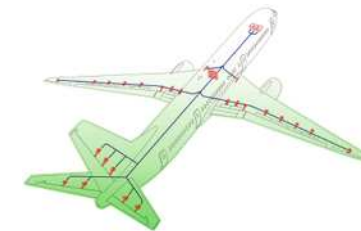
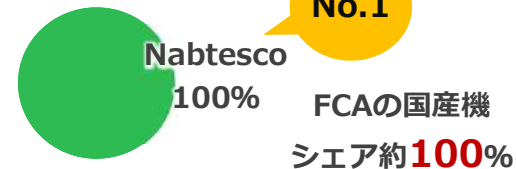
■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー



■ 商用車用エアドライヤー



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

川崎重工業、マキタ、(株)日立造船、三井造船、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、
Hyundai Heavy Industries (韓)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

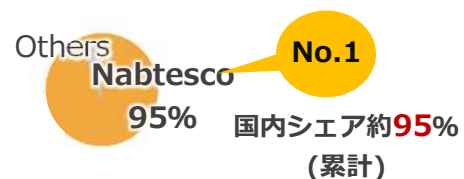
アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) 主要製品

自動ドア

■ 自動ドア開閉装置



■ プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

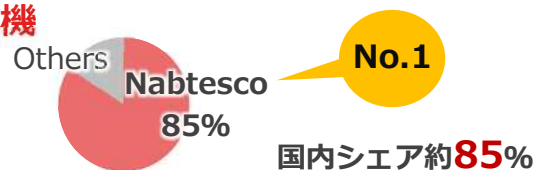
■ 自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■ レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■ 包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー